

『インターンシップ』に参加した当時の**高校生**が、

宇都宮支部

中村土建(株)

建築部

増瀨裕都さん



当時17歳の私は設計の仕事に就きたいと考えていたので『現場監督』という仕事について初めて考える機会となりました。インターンシップを通して様々な思いがありましたが、その中で、目まぐるしく変化する現場の中で職人と共に一つの建物を作り上げていく現場監督という仕事が『カッコいい』と感じた事が当時の率直な感想です。

下都賀支部

吉栄工業(株)

工事部

永木 誠さん



5日間のインターンシップをとおして、貴重な現場見学やさまざまな作業を経験することができました。参加するまでは、漠然と建設会社は堅苦しいというイメージを持っていましたが、期間中お世話になった先輩はとても明るく、学生の私でもわかるよう一つ一つ丁寧に教えてもらい、また同じく高校を卒業して入社した自分の経験談等アドバイスをいただき、進路の選択に非常に役立ちました。

塩谷支部

(株)荒牧組

建築部

和氣大河さん



インターンシップで母校の中学校の体育館の新設に立会い、物を作る達成感を学びました。私が参加したのは、校舎と体育館を繋ぐ渡り廊下のコンクリート打ちだけでしたが、ちょうど強風の中だったため作業は辛いことが多かったのです。しかし地元の子供たちが使っていく建物の一部を自分が作ったと思うと、それだけで大きな達成感を感じることができました。

安全実習教育

建設業労働災害防止協会 栃木県支部

建設業労働災害防止協会 栃木県支部では、『インターンシップ』の事前送り出し教育を実施しています。多くの労働災害は、「この位は大丈夫だろう」といった安易な行動や危険軽視から発生しています。どんな産業でもケガをするリスクがあることを学び、また、正しい知識と行動で防ぐこともできることを自覚し、『インターンシップ』に臨んで頂くよう取り組んでいます。



◀ PowerPointの視覚効果を活用し様々な事例を講義

保護具(保護帽・安全帯・防塵マスク・保護手袋等)の正しい着用と誤った着用方法を体験で学ぶ

